

■ 基礎知識【金】



金は古くから商品や資産としての価値と共に、通貨としての役割も果たしてきました。近年では、科学的特性により半導体チップなどエレクトロニクス産業全体に必要な物質となっています。金の需要は大別すると加工用・退蔵用に分けられます。加工用とは宝飾品・工業用・歯科用などありますが、その

中でも宝飾品需要が大きく、毎年全需要の7～8割を占めています。退蔵用とは、戦乱や貨幣価値の急落に備えて、公的機関や個人が金融資産として保持することを言います。どこでも自由に運ぶことができ、換金しやすいという性質から、金は現在でも世界各国で根強い人気があります。



■ 金市況

11月のNY金相場は、上旬は米大統領選挙の一般投票（3日）及び各州の開票結果の情勢や、欧米中心に流行再拡大の勢いを強める新型コロナウイルス感染症の動向を手掛かりに安全資産として買われ、一時高値1,940ドル台を付けた。しかし、その後は、軟調傾向が鮮明となり、月末にかけて4か月ぶりに1,800ドルを割り込むなど、ピークから7%以上値位置を下げる厳しい下落を強いられた。月間ではNY金2月限は99ドル（5.3%）下落した。月間下落率としてはトランプ大統領が大統領選に勝利した16年11月の-7.8%以来の大きさとなった。金標準先物期先は月間で354円（5.6%）下落。こちらは月間下落率としては15年11月の-6.8%以来の大きさ。

金にとって何が起きたのか？まずは「安全資産としての金の需要が減少したことが大きい」と言えそう。その背景には、今月に入り新型コロナウイルス感染症のワクチン開発を進めている製薬会社各社から試験結果のポジティブなニュースが相次ぎ、パンデミックによる最悪なシナリオ見通しが後退したことが挙げられる。その結果、金の下落とは対照的に、リスク選好ムードが高まったことで株式市場に資金が流入、同市場は史上最高値の高みへと大きく上昇した。市場を覆っていた先行き不透明感という雲が、その合間から陽が差し込み始め、経済見通しが改善し始めたとも言え換えられる。さらに、23日には大統領選勝利が確実視されているバイデン氏に対して、トランプ氏から（敗北宣言は出ていないものの）政権移行プロセス開始を容認され、バイデン陣営は閣僚候補のアナウンスを開始した。投資家にとっては選挙結果不透明というリスクが大きく後退した。特に、バイデン氏がイエレン前FRB議長を財務長官に指名することが有力視（30日に正式指名）されたことは、財務省とFRBの連携強化への期待とともに同氏の手腕、経験に信頼を寄せる株式市場は歓迎ムードとなった。もとより同氏はハト派と目されており、コロナ禍からの早期回復と経済刺激のための大規模追加景気対策を後押しするだろうと見込まれている。

金から見ると、パンデミックと大統領選挙という2大不透明感が弱まったことは明らかな弱気材料。これらは株式市場を支援し、株式市場と逆相関に動く傾向がある金は逆に売り圧力にさらされた。新たに大規模追加経済対策が成立し、それにより市場が経済活動の通常回復への自信を深めれば、リスク選好ムードが一段と強まり、金市場はもうしばらく低迷を強いられるか。特に目先仮に実質金利の上昇が見られるようになると、その傾向は強まるだろう。しかしながら、金の長期的なファンダメンタルズはほとんど変化していない。ドル安傾向は継続しており米国の実質金利は依然大きくマイナスに沈んでいる。これらは金の価格サポートに働く要因であり、政府債務のさらなる膨張もまた同様である。新型コロナウイルス感染症克服後のインフレ加速リスクも忘れてはいけない。2010年代は平均で7.2%だった米国人の貯蓄率は、今年のコロナショックに伴う経済封鎖と財政支援により4月に33.6%まで急騰した。その後、経済活動の再開により10月時点で13.6%まで低下しているが、それでも依然過剰貯蓄状態といえる。余剰資金のある中で今年の米国のクリスマス商戦は、実店舗での販売は低迷するもののそれ以上にネット通販の増加が予想されている。活動制限の中、ネット通販は大型高額商品から日用品まで幅広く利用されるようになった。ネット購入という地域格差をなくした購入方法は、便利さと裏腹に本当に不足懸念が浮上した場合、一気に注文が集中し加速度的に価格上昇するというリスクも潜んでいるのでは。

当資料は情報提供を目的としており、情報の内容は正確性、完全性に慎重を期しておりますが、これを保証するものではありません。記載された意見及び予測等は当資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に対する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券に属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

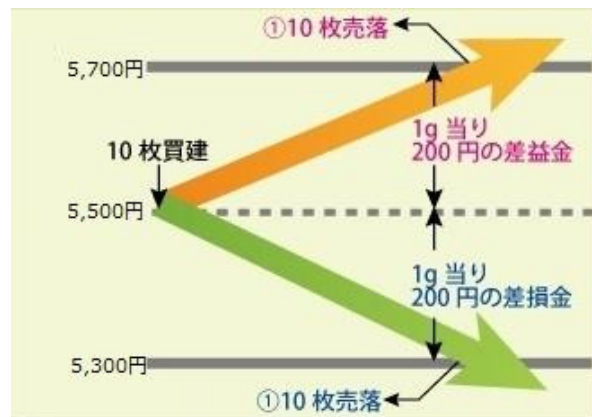
■ 実際の取引例

取引の手引き

標準品	純度 99.99%以上の金地金
呼値単位	1 グラム当たり 1 円刻み
取引単位	1 枚 1 キログラム
倍 率	1,000 倍
限 月	12 ヶ月以内の各偶数限月(6 限月制)

取引実際例

- ① 金 1g 当り 5,500 円で 10 枚買い、5,700 円で売り決済した場合
- ② 金 1g 当り 5,500 円で 10 枚買い、5,300 円で売り決済した場合



- ① (1) 差益金 $(5,700 \text{ 円} - 5,500 \text{ 円}) \times 1000 \text{ 倍} \times 10 \text{ 枚} = 2,000,000 \text{ 円}$
 (2) 税込手数料 $28,380 \text{ 円} \times 10 \text{ 枚} = 283,800 \text{ 円}$
 (3) 益金(1-2) $2,000,000 \text{ 円} - 283,800 \text{ 円} = 1,716,200 \text{ 円}$
- ② (1) 差損金 $(5,300 \text{ 円} - 5,500 \text{ 円}) \times 1000 \text{ 倍} \times 10 \text{ 枚} = -2,000,000 \text{ 円}$
 (2) 税込手数料 $27,610 \text{ 円} \times 10 \text{ 枚} = 276,100 \text{ 円}$
 (3) 損金(1-2) $-2,000,000 \text{ 円} - 276,100 \text{ 円} = -2,276,100 \text{ 円}$

※約定値段によって手数料は異なります。

取引証拠金・手数料【対面取引:通常】(2020 年 11 月 30 日現在)

当社証拠金	手 数 料 (1 枚)	
	約定値段	手数料(片道・税込)
273,600 円(通常法人) 342,000 円(通常個人)	5,400 円以上～5,800 円未満	14,190 円
	5,800 円以上～6,200 円未満	14,960 円
	6,200 円以上～6,600 円未満	15,730 円
	以後 400 円増すごとに 770 円を加算	

留意事項

弊社取扱の各金融商品にご投資いただく際には金融商品毎に所定の手数料及び諸経費等がかかる場合があります。また金融商品によっては価格変動による損失リスクが生じ、その損失額が投資元本を上回る場合があります。
 当社取扱の各金融商品への投資にかかる手数料及びリスクにつきましては各金融商品の契約締結前交付書面、投資概要、目論見書等をよくお読みいただき、内容について十分にご理解くださいますようお願いいたします。

当資料は情報提供を目的としており、情報の内容は正確性、完全性に慎重を期しておりますが、これを保証するものではありません。記載された意見及び予測等は当資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に対する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券に属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。